



機械のない時代、山の中からどのように木材を出したのでしょうか。一緒にのぞいてみませんか。それには、古文書を読むための知識が必要です。知識があれば、埋もれている森林・林業の古文書から、新しい歴史を見つげられるかも知れません。そんな夢を見ながら、一緒に昔の山仕事の世界の扉を開けましょう。



口山ハいふもきし奥山までも漸と小伐盡し近年ハ
いともく深山まじハ峻巖聳え嵯峨しき山なをば用しき
木品なをれど其處まで元伐んことをば自然釣枝から
いともくいともく木揃ふ成其とあつたははいともく
からき攀躋なるとい

教材 運材図会 嘉永7年
著者 富田禮彦(とみらいやひこ)
画家 松村寛一(まつむらひろかず)

古文書から見る江戸時代の山仕事 江戸の「^{うん}「^{ざい}運材図会」^ざ」^えを読む

古文書の世界をのぞくための連続講座

2016年7月6日(水)より 毎月第1水曜日開催

※2回目以降の日程は、以下の予定です。以降の予定及び詳細はお問合せください。

8月3日、9月7日、10月5日、11月2日、12月7日 年明け以降2月より再開予定

18:00~20:30 (受付:18:00~)

文京区民センター会議室 ほか

※2回目以降の会場の詳細はお問合せください。

森林インストラクター

講師 羽鳥 孝明氏(東京の林業家と語る会)

参加費 1,000円/回

定員 20名程度 (山仕事・古文書に関心をお持ちの方)

氏名、所属(あれば)、連絡先(メールアドレス、電話番号)を記入の上、開催日の3日前までにお申し込みください。



主催/申込・問合せ むかしごと研究会

E-Mail: mukashigo@yahoo.co.jp TEL: 090-7260-4440 (石山)

Facebook: <https://www.facebook.com/mukashigo/>

協力: (一社)日本森林インストラクター協会 (NPO) 森づくりフォーラム